



とよ だ みつ はる
豊田 光治

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

河川の監視カメラ設置で水位のリアル情報を

問 すでに国や県、他市では河川等の状況がライブや一定の時間間隔で映像配信されている。

映像による現況が現地へ行かなくても状況把握できれば、危機管理上も、また、自主避難の判断材料としても非常に有効ではないか。

答 河川等の監視カメラは、直接、人が巡視することなく状況把握ができ、危険が避けられ、非常に有効なものであると認識している。県が管理する河川については、現在のところ監視カメラが設置されていないことから、設置に向けて、引き続き県に要望していきたい。

他の危険場所については、現時点では、個々に監視カメラを設置することは考えていないが、平成27年度から、消防本部が設置する災害監視カメラが運用開始予定であり、その情報は災害対策本部にも配信されることから、市民の皆様への情報提供に活用していきたい。

●その他の質疑・質問●

○開発行政の在り方について、急傾斜地の団地造成等の開発は土砂崩れ等災害を見据えて慎重な対応を

○津市として交通安全対策にはさらに積極的な取り組みを

○「集団的自衛権行使容認」の閣議決定という、これまでと全く異なる状況の下で、自衛隊員募集のための名簿提供はやめるべき など



▲他市の水位遠隔監視カメラによる河川水位のリアル映像



かわ さき しょう じ
川崎 正次

けんとうくらぶ
県都クラブ

白銀環境清掃センターの跡地整備について

問 白銀環境清掃センターは、ごみの最終処分場として、また資源の再利用を図るために稼働中であるが、平成28年3月31日をもって閉鎖される。閉鎖後の跡地は約14.9万㎡にも及ぶ広大な面積となり、その有効活用については、市民の方々も関心を寄せているところである。

施設の閉鎖後、廃止までの期間及びその間の利用方法はどうか。

答 施設の閉鎖後、廃止までの期間については、「廃止に係る技術上の基準に定められている条件を満たすまで」がその期間となる。

また、閉鎖中の利用方法については、ガスの発生により人の立ち入りが困難な箇所もあることから、クリーンエネルギーとして環境負荷の低減に資する太陽光発電、いわゆるメガソーラーの設置を検討中であり、事前相談として電力会社に高圧連系の制限の有無の確認を行い、発電規模や設置面積等の初期的な調査も行ったところである。

電力会社からは、設置に問題はないとの回答を得たことから、今後は、地元の方々にも十分に説明を行いながら、メガソーラーの設置に向けて、努力していきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

○災害に強いまちづくりの推進

- ・避難勧告等の発令は適切か
- ・「垂直避難」の周知徹底を

○獣害対策の推進

- ・広域獣害対策連絡協議会の取り組みや実証実験結果と計画は

○公共交通の充実

- ・コミュニティバスの改善策は

○長谷山ハイキングコース

- ・道路整備状況と展望所の整備
- ・観光資源の活用策は など



▲現在の2期処分場の埋め立て地の様子